

各 位

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代表者名 代表取締役会長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第一部)
 問合せ先 執行役員管理本部長 関 めぐみ
 (TEL 06-6397-1888)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2019年3月期を初年度とする5ヵ年の新中期経営計画(2018年4月~2023年3月)を新たに策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 現中期経営計画 数値目標の達成状況

2016年5月に公表しました2017年3月期を初年度とする3ヵ年を予想した現中期経営計画では、2019年3月期の目標を売上高14,670百万円、営業利益2,280百万円、経常利益2,830百万円、当期純利益1,890百万円として計画いたしました。

医科・調剤・介護それぞれの分野のソリューションの強化、販路の拡大、情報連携の実現、製品の差別化・新規事業の発掘と拡大及び経営の見える化を推進、社内の業務プロセスの再構築(BPR)推進により、コストダウンが進んだことから、初年度である2017年3月期において営業利益・経常利益・純利益が3年目の計画数値を達成する結果となりました。

また、2018年4月の医療介護の同時改定の業績への影響が想定より少なかったことなどから、2018年3月期の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益共に過去最高額に到達することができました。

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期
	(計画)	(実績)	(計画)	(実績)	(計画)
売上高	13,900	13,676	14,470	13,953	14,670
営業利益	2,050	2,597	2,170	3,063	2,280
経常利益	2,550	3,163	2,720	3,618	2,830
当期純利益※	1,680	2,116	1,820	2,369	1,890

※親会社株主に帰属する当期純利益

2. 新中期経営計画策定の背景

当社グループを取り巻く環境は、「2025年問題」に象徴される超高齢社会に対応するため、国民の健康寿命延伸を支援する仕組みづくり、ITの利活用、地域での健康サポートを行う仕組みづくりへのニーズの高まり、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師に対する適切なサービスの提供等が求められています。当社グループでは、これらの事業環境に対応するため、地域における医療介護情報の連携、AIやビッグデータ活用による医療レベル向上、電子処方箋への対応、健康サポート薬局の支援機能の提供並びに、お客様が業務負荷と費用負担を少しでも減らしていただけるよう、操作の簡素化/自動化とシステム費用の大幅削減に取り組むことといたしました。画期的な製品やサービスを創出し、更なる社会貢献および当社グループが成長していくために大型の開発投資にも力を入れて参ります。

3. 新中期経営計画 基本方針・戦略

①製品の差別化

先進テクノロジーを活用した高付加価値製品の提供
 完全クラウド化：医療・介護連携支援ソリューション

- ②販売チャネルの拡大
サポートディーラー・OEM供給先の拡大
- ③人材の活性化
人事評価指標の変更、社員への期待値を明確化
- ④他社製品との情報連携推進
医科・調剤・介護で共通に使用でき、他メーカーにも提供可能な共通エンジンの実装
- ⑤M&Aの推進
お客様数の拡大を目的に事業とのシナジーを考慮し実施

4. 新中期経営計画 数値目標

①5カ年計画

(単位：百万円)

	2019年3月期 (計画)	2020年3月期 (計画)	2021年3月期 (計画)	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (計画)
売上高	12,875	13,127	14,603	16,310	18,045
営業利益	1,509	1,029	2,003	3,243	4,552
経常利益	2,138	1,637	2,598	3,808	5,122
当期純利益	1,432	1,100	1,729	2,586	3,500

②当社製品利用お客様数

2023年3月期までに、お客様数を医科10,000件、調剤25,000件、介護10,000件に増やすことを目指します。

5. 新中期経営計画 株主還元方針

本中期経営計画期間中の連結配当性向は30%以上を目標とし、上限を設けず一株当たりの配当額の継続的な拡大を目指します。

この変革に伴い、当社業績の一時的な悪化は避けられませんが、当社にとっては永続的に発展成長し、中・長期の姿が見える会社となる変革であります。株主の皆様におきましては、何卒ご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

※数値目標の利用に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画・目標数値、施策の実現を確約または保証するものではありません。

以 上